

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

施策	13	地域医療体制の充実
目標	04	「人生100年時代」を自分らしく健やかに生きることができるまち
施策担当課	健康推進課	関係課 在宅医療・生活支援センター 保健予防課等

施策目標
 休日等の医療機関が在宅訪問診療に活用され、高齢者に対する在宅訪問診療の体制が強化され、区民の救急時における安心感が増しています。また、在宅医療体制の充実により、区民の救急時における安心感が増しています。また、在宅医療体制の充実により、区民の救急時における安心感が増しています。

活動指標	成果指標
指標名(1) 算式・指標説明 急病医療情報センターの利用件数 杉並区急病医療情報センターの入電件数	指標名(1) 算式・指標説明 救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による【区民】
指標名(2) 算式・指標説明 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施回数	指標名(2) 算式・指標説明 在宅医療相談調整窓口の相談件数 【行政】
指標名(3) 算式・指標説明 在宅医療相談調整窓口の開設日数	指標名(3) 算式・指標説明 かかりつけ医療機関がある区民の割合 区民意向調査による【区民】
指標名(4) 算式・指標説明 移行期医療について区民向けに啓発する回数 講演会や調査等で移行期医療について取り上げた回数	指標名(4) 算式・指標説明
	指標名(5) 算式・指標説明
	指標名(6) 算式・指標説明

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標(1)	1 件	5,549	12,000	5,839	12,000	/	/
	活動指標(2)	2 回	0	3	3	3		
	活動指標(3)	3 日	242	243	243	243		
	活動指標(4)	4 回	0	1	1	1		
成果指標	成果指標(1)	5 %	69.6	73.0	67.5	74.0	80.0%	令和12年度
	成果指標(2)	6 件	389	500	344	500	700件	令和12年度
	成果指標(3)	7 %	68.8	61.0	61.3	62.0	65.0%	令和12年度
	成果指標(4)	8						
	成果指標(5)	9						
	成果指標(6)	10						
施策コスト	事業費	11 千円	12,154,665	12,633,989	11,267,123	5,076,466	4,657,723	特記事項 総事業費の減は、新型コロナウイルス感染症に関する経費(予防接種含む)の実績減によるものです。
	人件費	12 千円	811,906	684,698	836,278	561,890	576,612	
	総事業費 (11+12)	13 千円	12,966,571	13,318,687	12,103,401	5,638,356	5,234,335	
	国・都からの補助金等	14 千円	11,792,661	9,299,458	9,255,967	2,514,398	2,813,541	
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15 %			6.7	57.7	56.8	
	人件費比率 (12÷13)	16 %	6.3	5.1	6.9	10.0	11.0	

課題・分析	<p>急病診療体制について、急な病気やケガをした際、区民が安心して医療を受けられるよう、引き続き小児急病診療を含めた休日等夜間急病診療事業等を実施し、区民への周知を効果的に、必要があれども、災害発生時における緊急医療救護所を円滑に運営できるよう、医療救護訓練を3病院で実施するとともに、災害時透析医療救護体制を整備しました。</p> <p>また、在宅療養者が安心して医療を受けられるよう、在宅医療と介護の連携を強化していく必要があり、在宅療養者の地域医療体制の整備が求められています。感染症対策については、新型コロナウイルス感染症対応で課題となった、保健所体制の強化や医療提供体制の確保など医療機関との更なる連携強化を図るとともに、区民への予防知識の啓発活動が重要となります。</p>
施策の成果	<p>初期救急医療体制を確保するため、小児急病診療を含む休日等夜間急病診療事業等を実施し、区民の救急医療体制に対する安心感の醸成につなげました。また、災害時に開設する緊急医療救護所が円滑に運営できるよう、医療救護訓練を3病院で実施するとともに、災害時透析医療救護体制を整備しました。</p> <p>医療・介護の関係者による在宅医療地域ケア会議を15回、在宅医療に携わる看護師やケアマネジャー等を対象とした在宅医療推進多職種研修を4回開催したほか、杉並区医師会の多職種連携ICTシステムに係る運用経費を補助するなど、在宅医療と介護の連携強化に向けた取組を進めました。</p> <p>小児医療から成人科へ移行する障害者医療について、在宅療養の体制整備を図るため、当事者の保護者向けに区の取組を説明したほか、区と医師会と共催で小児科医や在宅訪問診療医、訪問看護ステーション等を対象とした研修を実施しました。</p> <p>感染症対策として検査用備品を購入し検査体制の拡充を進めたほか、新型インフルエンザ対策関係医療機関等連絡会を開催し医療関係機関との連携を強化しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、高齢者施設の職員向けに予防対策用の研修動画を作成し普及啓発を行ったほか、今後の防疫体制強化のため、基本的方向性と取組を示した杉並区感染症予防計画を策定しました。</p>
<p>改善・見直しの方向 中長期</p> <p>今後の進め方</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>初期救急医療体制については、医師の働き方改革等により、特に不足する傾向がある小児急病診療への支援を検討していきます。また、より実効性のある災害時医療体制を構築するため、緊急医療救護訓練を強化するとともに、医療救護が必要な災害時要配慮者等の支援体制や、被災者の健康情報の共有やDMATなど外部関係者との情報共有等、新たな災害保健医療体制の構築を図り、災害発生時における医療体制の更なる充実を目指します。</p> <p>在宅療養者が安心して医療を受けられるよう、引き続き在宅医療相談調整窓口を運営するほか、在宅医療地域ケア会議の開催や多職種連携ICTシステムへの支援等を通して在宅医療と介護の連携強化を図っていきます。</p> <p>医療的ケア児や重症心身障害児者が地域の医療機関に移行できるよう、在宅療養の促進を図る取組や、かかりつけ医が対応しやすい体制整備を進める必要があります。</p> <p>感染症対策については、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、今後も起こり得る新興・再興感染症に適切に対処するため、「杉並区感染症予防計画」に基づき、保健所職員の体制整備、検査の実施体制等の強化を推進するとともに、区内医療機関との更なる連携強化を図ります。</p>

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00806)

事務事業名称	在宅医療・生活支援センターの維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	015	整理番号	214
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係			連絡先電話番号	4383		昨年度整理番号	219		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	令和 2年度												
令和 5年度担当課名	在宅医療・生活支援センター							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 施設利用者及び職員	根拠法令等 (1) (2)	杉並区在宅医療・生活支援センター処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 施設の維持管理を適切に行い、施設利用者及び職員が安全・快適に施設を利用できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 在宅医療・生活支援センターの維持管理のために、建物保守管理委託料・光熱水費・電話料金等を支出する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								92.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	5,799	6,082	5,709	5,956	5,514	7,333		特記事項
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	834	0	416	0	0	0	
	上記以外の職員	7 千円	0	1,838	1,839	1,839	1,904	1,904	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	6,633	7,920	7,964	7,795	7,418	9,237		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,633	7,920	7,964	7,795	7,418	9,237	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 214

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	建物保守管理委託料の支出			4,251
	光熱水費の支出			625
	電話料金の支出			340
	その他 (消耗品の購入等)			298
取組成果	建物保守管理委託料や光熱水費等については、杉並福祉事務所に予算を令達し、ウェルファーム杉並の建物全体で一体的に管理を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	建物保守管理委託料や光熱水費等について、概ね予算どおりに執行しています。
事業の方向性・改善策	引き続き、杉並福祉事務所と連携しながら、ウェルファーム杉並の建物を適切に維持管理していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	在宅医療・生活支援センターの維持管理に必要な予算を計上します。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00314)

事務事業名称	救命救急体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	009	整理番号	306	
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	311					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成16年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民 中学生以上の区民（救急協力員）	根拠法令等 (1) (2)	杉並区急病医療情報センター運営要綱 地域における初期救急対応力整備要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区民の急病時の不安解消を目指して、24時間365日病院探しに困らない体制を整える。緊急時に応急手当ができる区民の養成やAEDの配置により、初期救急対応力の向上を図る。医療機関への相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整える。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ）	急病医療情報センターの利用件数 急病医療情報センターの入電件数 救命講習受講者数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	専門の保健師・看護師が医療機関の案内・相談を365日行う杉並区急病医療情報センターを運営し、委託により実施する。迅速・正確に応急手当を行える区民（救急協力員）を養成する。救命講習会を実施する。AED（自動体外式除細動器）の設置・維持管理を行う。医療に関する相談・苦情対応を行う杉並区医療安全相談窓口を運営する。	指標説明 成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	応急手当普及のために区が行った救命講習受講者数 救急医療体制に安心感を持つ区民の割合 区民意向調査による【区民】 救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）登録者数 救急協力員（すぎなみ区民レスキュー）累計登録者数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	5,549	12,000	5,839	12,000	9,574	12,000	79.8	95.8
活動指標 (2)	2 人	1,530	3,000	2,325	3,000	2,295	3,000	76.5	
成果指標 (1)	3 %	69.6	73	67.5	74	71.3	75	96.4	
成果指標 (2)	4 人	4,553	5,000	5,174	5,500	5,718	6,000	104.0	
事業費	5 千円	29,354	30,483	28,959	36,209	34,688	35,489	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	4,922	3,337	4,242	3,327	4,018	3,348	機能が強化されたAEDを新たに賃借したため、事業費が増加しました。
	上記以外の職員	7 千円	7,350	8,820	9,563	9,563	9,898	9,898	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	41,626	42,640	42,764	49,099	48,604	48,735		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	41,626	42,640	42,764	49,099	48,604	48,735	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 306

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	急病医療情報センター運営	1	か所	22,526
	A E Dの賃借			9,586
	救命講習テキスト等購入			1,277
	その他 (謝礼金支払、消耗品購入等)			1,299
取組成果	<p>杉並区急病医療情報センターにおいて夜間及び土日祝日における急病相談を9,574件受けるとともに、杉並区医療安全相談窓口では773件の相談を受けるなど、急病など緊急時の区民の不安解消や安心して医療を受けられる環境を整えました。地域における初期救急対応力の向上を図る救急協力員は、544人増えて延べ5,718人となったほか、保健所独自の講習を含めた救命講習会は131回2,295人が受講するなど、区民等の応急手当の知識と技術の習得を図るとともに、不特定多数の区民が集まる公共施設等にA E Dを延べ387台設置し、初期救急の体制整備を図りました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>杉並区急病医療情報センターは、東京都及び東京消防庁が実施している類似の事業と異なり、休日、夜間に専門の保健師・看護師が医療機関の案内や相談を行っており、利用件数は4年度より3,000件以上増え、区民の安心感に大きく寄与しています。引き続き運営を継続しつつ、利用件数の推移や他の類似サービスとの役割分担等を随時確認しながら、効率的な運営を検討していく必要があります。地域における初期救急対応力については、引き続きA E Dの適切な維持管理等を継続し、初期救急の体制整備を図っていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>杉並区急病医療情報センターへの急病相談件数や杉並区医療安全相談窓口への相談件数は令和5年度と同程度に推移しており、区民の急病時の不安を解消し、安心して医療を受けられる環境を維持しています。</p> <p>A E Dの操作方法・応急手当技法を学ぶ救命講習については、回数及び受講者数ともに令和5年度と同規模の実施を予定しており、4月には区議会議員への救命講習を実施しました。A E Dの維持管理と併せて、地域における初期救急対応力の向上を図っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉並区急病医療情報センターについては引き続き運営を継続しつつ、相談の件数の推移を長期的に捉え、東京都及び東京消防庁が行う他の類似サービスとの役割分担を随時確認し、杉並区急病医療情報センターのサービス内容を見直していきます。</p> <p>また、杉並区医療安全相談窓口については、医療機関に関する相談・苦情に応じることにより、区民が安心して医療を受けられる環境を整えていきます。</p> <p>救命講習については、令和5年度と同程度の回数や人数で開催することにより、区民等の応急手当の知識と技術の普及・啓発を図るとともに、より適切なA E D設置場所の検討や維持管理を継続することにより、初期救急の体制整備を図っていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並区急病医療情報センターや杉並区医療安全相談窓口の運営により、区民の急病時の不安解消や安心して医療を受けられる環境整備が求められています。</p> <p>また、応急手当技法を学ぶ救命講座の継続的な実施とA E D設置は、救急車を要請してから実際に到着するまでの間、どれだけ応急手当を行えるかが傷病者の生命を大きく左右するため、初期救急対応力の向上に欠かせません。</p> <p>今後の予算についても同規模を維持しつつ、杉並区急病医療情報センターの運営については、利用件数の推移や他の類似サービスとの役割分担等を随時見直していきます。また、A E Dについては設置場所など適切な維持管理方法についても検討していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00315)

事務事業名称	急病診療事業の運営				款	04	項	05	目	01	事業	010	整理番号	307	
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	312					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和53年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	01							
令和 5年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民	根拠法令等	(1) 杉並区休日等夜間急病診療事業実施要綱 (2) 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の急病時の不安解消を目指し、一般の医療機関での受診が困難となる夜間・休日等の時間帯においても安心して医療を受けられる体制を整える。	活動指標	急病診療所 (医科・歯科) 及び薬局の利用者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区休日等夜間急病診療所及び休日当番医を設置し、委託により実施する。 杉並区歯科休日急病診療事業を委託により実施する。 杉並区休日等夜間調剤薬局及び休日当番薬局を設置し、委託により実施する。 小児急病診療協力医療機関 (東京衛生アドベンチスト病院・佼成病院) への委託により、小児急病診療事業を実施する。	指標名 (1)	休日等急病診療事業 (医科：固定・輪番、歯科：固定、薬局：固定・輪番) の利用者数
		指標名 (2)	小児急病診療協力医療機関 (東京衛生アドベンチスト病院、佼成病院) 受診者数 小児急病診療事業の委託先医療機関の受診者数 (東京衛生アドベンチスト病院、佼成病院)
		成果指標	救急医療体制に安心感を持つ区民の割合
		指標説明	区民意向調査による【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	7,865	23,000	9,516	23,000	22,223	23,000	96.6	98.5
活動指標 (2)	2 人	1,288	2,200	1,689	2,200	1,423	2,200	64.7	
成果指標 (1)	3 %	69.6	73	67.5	74	71.3	75	96.4	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	211,876	212,699	211,060	207,790	204,580	201,400	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	6,674	5,423	7,153	5,823	6,781	5,860	
	上記以外の職員	7 千円	1,838	1,103	736	736	761	761	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	220,388	219,225	218,949	214,349	212,122	208,021		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	4,965	5,109	5,017	5,109	5,109	5,111	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,965	5,109	5,017	5,109	5,109	5,111	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	215,423	214,116	213,932	209,240	207,013	202,910	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 307

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	休日等夜間急病診療事業委託	1	件	137,139
	歯科休日急病診療事業委託	1	件	23,150
	小児急病診療体制の確保に関する委託	2	件	19,252
	休日等夜間調剤事業委託	1	件	23,136
	その他 (パンフレット購入、保険料ほか)			1,903
取組成果	<p>区民の急病診療体制を支えるため、杉並区休日等夜間急病診療所受診者数7,200人、当番医 (4所) 受診者数7,756人、杉並区歯科休日急病診療受診者数386人、杉並区休日等夜間調剤薬局処方件数5,969件、休日当番薬局処方件数912件で、合計22,223件の診療等を行い、受診が困難となる夜間等においても安心して医療を受けられる体制を確保しました。また、小児の急病診療を確保するため東京衛生アドベンチスト病院と佼成病院において合計1,423人が受診するなど、急病時の不安解消と医療体制の確保に努めました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>急病診療等の医療体制確保については、休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことにより、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染対策が緩和された等に伴い、受診者数が令和4年度より2倍以上増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前を上回っています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において急病診療を実施することにより、子どもを抱える世帯の医療面での不安解消につながっているため、今後同規模の事業を展開することが求められます。令和5年10月から佼成病院が東京都指定二次救急医療機関となり、より小児急病診療体制が強化されましたが、令和6年4月から医師の働き方改革の新制度が施行されたことに加え、河北総合病院の小児科が24時間診療を休止したことから、小児急病診療の環境が大きく変化しており、今後の動向を注視していく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>杉並区休日等夜間急病診療所と杉並区休日等夜間調剤薬局、小児急病診療協力医療機関 (東京衛生アドベンチスト病院) の利用件数については、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻りつつあり、令和5年度と比較して増加しており、区民の救急医療に対する安心感に寄与しています。引き続き事業を継続していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>休診する医療機関が多い平日夜間や休日等に急病診療を行うことで、区民の救急医療に対する安心感に寄与しており、特に小児急病診療については、杉並区休日等夜間急病診療所や小児急病診療協力医療機関等において、子育て世帯を医療面から支援し、不安解消に寄与しております。</p> <p>一方、区内の小児急病診療体制について、令和6年4月から河北総合病院が小児科の24時間診療を休止したことなどから、杏林大学医学部付属杉並病院 (旧佼成病院) が24時間診療を行う小児科への影響を分析し、小児急病診療体制の確保を図っていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>急病診療等の体制確保については、区民の救急医療に対する安心感を支えていくものであることから、今後も事業を継続していきます。</p> <p>特に小児急病診療体制を維持するために、小児急病診療を実施する医療機関 (小児科) を支える具体的な方策について検討を進め、必要な経費予算について拡充する見込みです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00316)

事務事業名称	災害時医療体制の充実				款	04	項	05	目	01	事業	011	整理番号	308
現担当課名	健康推進課		係名	医療連携担当		連絡先電話番号	4528			昨年度整理番号	313			
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	健康推進課								事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	災害時に開設する緊急医療救護所、医療救護所、震災救援所	根拠法令等 (1) 災害対策基本法 (2) 杉並区地域防災計画
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	災害時に発生する負傷者等に対して、適切な応急処置等を行える体制を確立する。	活動指標 指標名（ 1 ） 管理している接骨セットの更新件数 指標説明 平成26年度末に災害救急ミニセット、助産セットの配備を廃止した。 指標名（ 2 ） 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の実施 指標説明
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	災害拠点病院、災害拠点連携病院等の敷地内に緊急医療救護所を整備し、維持運営を行う。(11病院) 災害拠点病院、災害拠点連携病院等と連携した、実践的な医療救護訓練を行う。	成果指標 指標名（ 1 ） 災害拠点病院等と連携した医療救護訓練の回数 指標説明 災害時医療救護体制の変更以降の医療救護訓練回数の累計【行政】 指標名（ 2 ） 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	66	66	66	66	66	66	100.0	92.7
活動指標 (2)	2 所	0	3	3	3	3	3	100.0	
成果指標 (1)	3 回	16	19	19	22	22	25	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	10,455	11,589	11,103	21,568	19,994	21,825	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	7,425	8,343	10,564	8,318	9,961	17,579	災害医療救護従事者用多機能ベスト及びヘルメットを購入したほか、緊急医療救護所整備補助金を1病院に支給したことから事業費が増加しました。
	上記以外の職員	7 千円	1,103	1,103	736	736	761	761	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	18,983	21,035	22,403	30,622	30,716	40,165		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	150	777	726	777	774	777	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	150	777	726	777	774	777	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	18,833	20,258	21,677	29,845	29,942	39,388		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 308

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	緊急医療救護所運営助成	11	所	5,500
	医療救護所備蓄品管理			3,131
	災害医療活動拠点の整備			2,301
	緊急医療救護所設置病院の整備助成	1	所	7,317
	その他 (災害時歯科医療機器の賃借等)			1,745
取組成果	<p>令和4年度に杉並区災害医療運営連絡協議会の下部組織として杉並区災害時透析医療救護体制検討部会を設置し、令和5年度も引き続き協議した結果、災害時において透析医療機関間で透析患者の受入を調整する仕組みを構築したことに加え、患者搬送について各透析医療機関や搬送業者と協定を締結し、令和6年4月から災害時透析医療救護体制を開始しました。</p> <p>また、災害医療救護従事者用多機能ベスト及びヘルメットを購入するとともに、緊急医療救護所の医療救護訓練を12月に3病院と同時実施するなど、災害時の関係機関の備えや連携を強化しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>杉並区災害時透析医療救護体制については、透析患者への周知や透析医療機関の災害時訓練などを通じ、より実行性のある体制整備に努めていく必要があります。</p> <p>災害発生時に緊急医療救護所が円滑に運営されるためには、震災救援所と連携した訓練や複数の緊急医療救護所同時訓練など実効性のある訓練を実施することに加え、常に改善点の検証を行うとともに、杉並区災害医療運営連絡協議会を中心に関係機関との連携体制を更に強化する必要があります。</p> <p>令和6年度以降は災害時における保健医療活動体制を強化するため、ICTを活用した新たな体制を検討・整備していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>緊急医療救護所の医療救護訓練については、より実践的な訓練とするため、EMIS (広域災害救急医療情報システム) を使用し、実際に被災状況を入力するなど情報連携訓練内容の改善をしていきます。また、令和6年度開始した人工透析患者に対する災害時透析医療救護体制について、関係機関や区民への周知を図りつつ、区内透析医療機関との訓練を実施するとともに、医療救護が必要な災害時要配慮者等の支援として、周産期医療救護体制について検討部会を開催しており、関係医療機関等と協議をしています。</p> <p>さらに、災害時の通信力強化のため、地域BWAを活用したWi-Fiアクセスポイントを緊急医療救護所設置病院、区内透析医療機関、四師会、杉並保健所医療救護部に設置していきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>災害時に備えるため、災害拠点病院・災害拠点連携病院等11病院への運営協力金の交付による、緊急医療救護所の備蓄品整備を継続していきます。また、緊急医療救護所の医療救護訓練については、災害拠点病院や災害拠点連携病院等と連携した訓練を令和5年度と同規模で継続するとともに、実効性のある訓練内容とするため常に改善点の検証を行い、杉並区災害医療運営連絡協議会を中心として関係機関との連携体制を更に強化していきます。</p> <p>さらに、地域BWAを活用したWi-Fiアクセスポイントを緊急医療救護所設置病院等に設置するとともに、ICTを活用した災害時の新たな保健医療活動体制の整備について検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>災害に対する備えとして、緊急医療救護所の整備補助について、いつ発災しても対応できるよう、引き続き実施していく必要があります。また、大規模な災害にも対応できる能力を身に着けるため、区と関係医療機関が連携した医療救護訓練は継続して実施していく必要があります。このため、緊急医療救護所の整備や医療救護訓練に係る予算については、令和6年度と同規模としつつ、より実践的な事業を実施していきます。</p> <p>また、災害時における保健医療活動体制を強化するため、タブレットの購入や令和6年度に設置するWi-Fiアクセスポイントの維持費が増額する見込みです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00317)

事務事業名称	歯科保健医療センター事業			款	04	項	05	目	01	事業	012	整理番号	309
現担当課名	健康推進課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	314		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成13年度												
令和 5年度担当課名	健康推進課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	障害者や有病高齢者等で、一般の歯科診療所での診療が困難な区民 身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民	根拠法令等 (1) (2)	杉並区立保健医療センター条例 杉並区歯科保健医療センター事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	一般の歯科診療所では受診が困難な障害者や有病高齢者等が安心して歯科診療を受けることができる場を提供する。 身近にかかりつけ歯科医を持ち、気軽に相談できる環境をつくる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	延べ診療件数 (年間) 歯科保健医療センター診療件数実績 利用者数 (延べ) 歯科保健医療センター登録者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並保健所内に、かかりつけ歯科医に関する相談、歯科医療機関の紹介、専門的歯科治療を行う歯科保健医療センターを設置し、運営を委託により実施する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 区民意向調査による【社会】 延べ診療件数の前年比 診療件数の前年対比【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	5,865	5,000	6,195	5,000	6,128	5,000	122.6	100.0	
活動指標 (2)	2 件	4,911	4,000	5,218	4,000	5,121	4,000	128.0		
成果指標 (1)	3 %	79.8	65.0	79.8	65.0	74.7	65.0	114.9		
成果指標 (2)	4 %	111.7	100	105.6	100	98.9	100	98.9		
事業費	5 千円	66,150	65,555	65,523	65,268	65,237	65,268	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,085	834	998	1,664	1,925	2,511		
	上記以外の職員	7 千円	0	368	368	368	381	381		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	67,235	66,757	66,889	67,300	67,543	68,160			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	67,235	66,757	66,889	67,300	67,543	68,160		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 309

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	歯科保健医療センター運営業務委託	1	件	54,232
	歯科保健医療センター医療機器賃借	1	件	10,997
	その他 (保険料)			8
取組成果	<p>一般の歯科診療所で受診が困難な区民を対象とした歯科診療等について、杉並区歯科医師会に委託して杉並区歯科保健医療センターを運営することで、区民が安心して歯科診療を受ける環境を確保しました。また、区内障害者施設職員に向けた口腔ケア指導研修について、施設ニーズに応じた内容で実施することができました。</p> <p>歯科保健医療センターの事業を円滑かつ適切に実施するため、委託先と事業運営連絡会を2回開催し、連携を図りました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	令和4年度から開始した区内障害者施設職員に向けた口腔ケア指導研修を実施するにあたっては、研修目的に沿った効果的な研修となるように、内容と方法を工夫する必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と事業運営連絡会を開催するなど連携を図りながら、事業を円滑かつ適切に実施するとともに、区内障害者施設職員を対象とする口腔ケア指導研修について、研修目的に沿った効果的な研修内容を実施しています。</p> <p>予算執行率は、100%になる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>一般の歯科診療所での治療が困難な障害者の高齢化に加え、高齢者人口の増加に比例して有病高齢者の受診が増加傾向にあることから、引き続き安心して歯科診療を受けられる体制を確保する必要があります。また、身近な地域にかかりつけ歯科医を持つことを希望する区民に、地域の歯科医療機関と連携して、かかりつけ歯科医の相談及び紹介を行い、住み慣れた地域で安心して健康に暮らし続けられる環境を整備する必要があります。</p> <p>引き続き、歯科保健医療センターの運営委託先である杉並区歯科医師会と連携、協力しながら、区民が安心して利用できるよう努めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	医療ガス機器のオーバーホールを実施する必要があるため、整備費用を計上する必要があります。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00328)

事務事業名称	各種衛生検査			款	04	項	05	目	01	事業	024	整理番号	319
現担当課名	生活衛生課		係名	衛生検査係			連絡先電話番号	4514		昨年度整理番号	324		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和56年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	生活衛生課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住者、区を含む事業所	根拠法令等	(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	健康被害の未然防止・被害拡大の防止・再発防止のための行政判断に科学的根拠を与える。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	検査実績検体数 (件) 検査を実施した検体の数 検体受領回数 (回) 検体を受領した回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	保健所、防災課、学校整備課等から依頼を受け、衛生微生物検査 (レジオネラ属菌、腸管出血性大腸菌0157等、サルモネラ、黄色ブドウ球菌等)、腸管系微生物検査 (ノロウイルス、腸管出血性大腸菌0157等、赤痢菌、サルモネラ等)、結核菌感染診断検査、新型コロナウイルス検査等を実施する。 学務課、保育課から依頼を受け、給食等を対象とした放射性物質の測定を実施する。 ○流行している感染症など区内の健康課題を踏まえた上で、適宜必要な検査法を確立する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	細菌検査項目数 依頼を受け、検査を行った細菌検査の項目数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	15,646	12,000	10,303	10,000	9,616	10,000	96.2	84.7
活動指標 (2)	2 回	1,154	1,000	979	900	923	900	102.6	
成果指標 (1)	3 項目	50	48	51	48	51	44	106.3	
成果指標 (2)	4 項目								
事業費	5 千円	43,994	48,766	31,061	31,233	26,448	20,043	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	59,104	43,170	43,161	37,847	38,423	38,088	令和5年度事業費減の理由：新型コロナウイルスPCR検査実施数の減少により、検査試薬費等の支出が抑えられたためです。 執行残の理由：新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う検査需要の減少により、検査実施数が低く抑えられ、検査試薬費等、検査実施に係る経費に執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	103,098	91,936	74,222	69,080	64,871	58,131		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	35,762	39,547	39,464	16,440	16,414	1,069	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	35,762	39,547	39,464	16,440	16,414	1,069	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	67,336	52,389	34,758	52,640	48,457	57,062	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 319

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	検査用機器の賃借・備品購入			3,809
	各種試験・検査の材料購入・機器の修理及び保守点検			10,476
	精度管理			322
	新型コロナウイルス検査	794	件	11,841
	その他 ()			
取組成果	<p>庁内各課からの依頼に対し、腸管出血性大腸菌やレジオネラ属菌等の散発事例に対応するなど迅速かつ正確な検査を行いました。また、区民の不安解消につながる科学的根拠を示すため、食品苦情に関する検査や給食食材の放射能測定などを行いました。新型コロナウイルス感染症対策については、5類感染症移行後もPCR検査判定実施体制を確保するとともに、変異株スクリーニング検査により区内の発生動向の把握に努めました。変異株スクリーニング検査では、流行状況に応じた検査対象の追加、見直しなどを行い、オミクロン株の新たな派生株の推定にも対応しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区における感染症等の試験検査等の技術的・専門的な実施機関として、法的検査及び新興・再興感染症等の健康危機発生時に即応することのできる検査体制を維持・確保するため、平時から検査機器の整備や、検査試薬等の備蓄に加え、検査手技訓練を行い、検査能力の維持向上を図る必要があります。</p> <p>また、検査の信頼性を確保するため、引き続き検査精度の確認及び評価を計画的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び更新についても計画的に行う必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>庁内各課からの依頼に対し、迅速かつ正確な検査を継続して実施しています。感染症や食中毒の発生時等、特に緊急を要する場合には、土日も含め、早急に対応しています。令和6年度からは、新型コロナウイルス感染症に対応するため整備した検査機器等を活用し、性感染症であるHIV及び梅毒の検査を新たに開始しました。</p> <p>また、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査等に参加するとともに、保有している検査機器の保守点検及び耐用年数の超過した検査機器の更新を行い、検査の信頼性の確保に努めています。年度末までの予算執行は90%を超える見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度に策定された「杉並区感染症予防計画」に基づき、平時からの計画的な検査体制の維持、強化を図ります。そのため、保有している検査機器の保守点検及び更新を継続的に行い、厚生労働省が認めた第三者機関による精度管理調査に参加するとともに、人材育成を計画的に実施していきます。併せて、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄及び実践型訓練を実施していきます。</p> <p>また、感染症対策を充実させるため、保健予防課からの要望を受け、B型肝炎検査及び結核の核酸増幅検査等への対応についても検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>庁内各課からの依頼に対し検査を実施するとともに、新たな検査需要にも対応していくため、試薬及び器材の購入費用が継続して見込まれます。また、検査体制を維持・確保するため、老朽化した検査備品を計画的に更新するための費用、検査機器の維持管理費用、健康危機発生時に即応するための検査試薬等の備蓄費用及び人材育成のための研修費用の需要も見込まれます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00329)

事務事業名称	在宅医療体制の充実			款	04	項	05	目	01	事業	025	整理番号	320
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係			連絡先電話番号	4383		昨年度整理番号	325		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	在宅医療・生活支援センター							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	在宅療養者及び医療・介護の関係者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して医療を受けられるように、在宅医療体制を充実させる。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	ウィッグ購入費等助成事業のチラシ作成部数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	医療・介護の関係者が在宅療養者の情報を効率的に共有できるようにするため、杉並区医師会の多職種連携ICTシステムに係る運用経費を補助する。○がん治療に伴う外見の変化で悩みを抱えている患者の心理的及び経済的な負担軽減を目的として、ウィッグ・胸部補整具の購入費等を助成する。在宅療養者の入院体制を確保するため、在宅療養者の一時的な受け入れを行った後方支援病床の協力病院に対して補助を行う。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	多職種連携ICTシステムの利用者数 【行政】 ウィッグ購入費等の助成件数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	0	0	0	4,000	4,000	4,000	100.0	92.1
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	201	300	308	400	382	400	95.5	
成果指標 (2)	4 件	0	0	0	200	233	250	116.5	
事業費	5 千円	6,880	7,769	7,129	15,074	13,886	15,170	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,006	7,926	9,150	8,318	10,045	8,371	令和5年度にウィッグ購入費等助成事業を開始したことから事業費が増加しました。また、同事業の開始に伴い、活動指標 (1) 及び成果指標 (2) を変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	6,983	7,350	6,694	7,356	6,853	6,853	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	18,869	23,045	22,973	30,748	30,784	30,394		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	10,623	13,044	10,916	12,954	14,203	11,374	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	10,623	13,044	10,916	12,954	14,203	11,374	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	8,246	10,001	12,057	17,794	16,581	19,020	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 320

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	多職種連携 I C Tシステムの運用支援			
	ウィッグ購入費等の助成	233	件	6,559
	後方支援病床の支援	40	日	320
	その他 (消耗品の購入等)			38

取組成果

杉並区医師会の多職種連携 I C Tシステムに係る運用経費を補助し、医療・介護の関係者が患者情報を効率的に共有できるようにしました。また、システムの普及を図るため、杉並区医師会と協力して在宅医療地域ケア会議の関係者等に周知を行い、令和5年度末時点での利用者数は382人 (令和4年度比74人増) となりました。さらに、がん患者のウィッグ購入費等を助成する事業を7月に開始し、計233件の助成を行ったほか、在宅療養者が速やかに入院できるようにするため、在宅療養者の一時的な受け入れを行った後方支援病床の協力病院に対して補助を行いました。

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅医療体制をより一層充実させることが必要です。</p> <p>令和6年度は、多職種連携 I C Tシステムや後方支援病床の協力病院に対する補助を継続するとともに、杉並区医師会や区内医療機関等と連携しながらシステムや制度の更なる周知を図ります。また、令和5年7月に開始したウィッグ購入費等助成事業をさらに周知していくため、A4サイズに加えてカードサイズのチラシを新たに作成し、医療機関やウィッグ販売店等に配布します。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>多職種連携 I C Tシステムの運用状況やシステムの普及等について、杉並区医師会と4月から継続して意見交換を行いました。</p> <p>また、8月末時点 (7月申請分まで) のウィッグ購入費等の助成件数は、86件となっています。</p> <p>そのほか、令和6年4月に開院した杏林大学医学部付属杉並病院と後方支援病床の協力に関する協定を新たに締結しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>多職種連携 I C Tシステムや後方支援病床について、9月以降に開催する在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進多職種研修等で、引き続き在宅医療の関係者への周知を行い、利用の拡大を図っていきます。</p> <p>また、ウィッグ購入費等助成事業については、医療機関やウィッグ販売店を通じた周知をさらに強化するため、9月を目途にカードサイズの新たなチラシを作成します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>多職種連携 I C Tシステムの利用者数が増えていく見込みであり、運用経費が増加します。また、ウィッグ購入等助成件数について、前年度よりも増加することが見込まれており、次年度の予算は今年度と比べて増額となります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00343)

事務事業名称	予防接種	款	04	項	05	目	05	事業	001	整理番号	335	
現担当課名	保健予防課	係名	保健予防係			連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	340		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実						予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和23年度		主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
令和 5年度担当課名	保健予防課						事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	法令及び要綱に定める接種年齢に該当する区民	根拠法令等	(1)	予防接種法
			(2)	特別区予防接種相互委託協定書
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	A類疾病（ロタ、B型肝炎、4種混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、結核、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、HPV）、B類疾病（インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）、新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延を予防する。任意予防接種の費用を助成することで、接種しやすい環境を作り、疾病予防を推進する。	活動指標	指標名（ 1 ）	A類予防接種の接種件数
		指標説明	指標名（ 2 ）	B類予防接種の接種件数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	法令で定められた予防接種を実施する。保護者が予防接種について正しく理解し、接種するよう、普及啓発を行う。一部の法定外予防接種に対し、接種費用の助成を行う。	指標説明	成果指標	1歳6か月児健診受診者の麻しん、麻しん風しん混合予防接種の接種率
			指標名（ 1 ）	接種件数 ÷ 対象者数【行政】
			指標名（ 2 ）	A類予防接種の接種率
			指標説明	接種件数 ÷ 対象者数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	105,729	110,000	112,458	112,000	110,340	110,000	98.5	92.9
活動指標 (2)	2 件	73,420	74,000	82,856	74,000	75,341	74,000	101.8	
成果指標 (1)	3 %	95.0	100	96.4	100	98.3	100	98.3	
成果指標 (2)	4 %	90.3	100	97.9	100	96.7	100	96.7	
事業費	5 千円	10,100,269	9,510,337	8,705,408	4,183,548	3,886,135	2,185,224	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	269,071	237,314	300,908	205,009	227,915	95,948	新型コロナウイルス予防接種に係る委託費について令和6年度に繰越を実施国の方針で接種対象を限定したため、執行率及び事業費が減りました。
	上記以外の職員	7 千円	29,400	29,400	33,102	25,746	26,649	15,228	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	10,398,740	9,777,051	9,039,418	4,414,303	4,140,699	2,296,400		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	10,107,576	7,319,139	7,073,005	2,157,854	2,450,150	152,017	
	その他の補助金等	11 千円	125,335	104,802	152,918	123,490	141,920	770,223	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	10,232,911	7,423,941	7,225,923	2,281,344	2,592,070	922,240	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	165,829	2,353,110	1,813,495	2,132,959	1,548,629	1,374,160	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 335

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	子どもの定期予防接種事業の実施	110,340	件	1,517,562
	B類予防接種事業の実施	75,341	件	268,251
	任意予防接種事業の実施	24,133	件	207,297
	新型コロナウイルス予防接種の実施	195,541	件	1,766,378
	その他 (健康被害救済、印刷等事務費、医師報償費の支出ほか)			126,647
取組成果	<p>高齢者インフルエンザ予防接種は、無償であった令和4年度に比べ、接種件数は減少しましたが、令和5年4月から、带状疱疹予防接種費用の一部助成を開始したため、任意予防接種全体の接種件数は著しく増加し、区民の疾病予防と経済的負担を軽減することができました。新型コロナウイルス予防接種は、集団接種会場での接種が令和5年7月で終了し、その後9月からの秋接種では令和6年度の定期接種を見据え区内医療機関の接種体制の整備を図りました。その結果、高齢者の接種率は、全国平均を上回る実績となりました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>積極的勧奨を中断していた期間にHPVの接種対象であった方への予防接種 (キャッチアップ接種) や風しん抗体検査・風しん第5期定期接種は令和6年度が制度の最終年度となるため、制度に関する適切な情報提供や周知を行う必要があります。</p> <p>予診票の発行、接種歴、接種間隔等について、区民や医療機関からの問い合わせが増えており、国からの情報収集及び適切な説明がますます重要となっています。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、新たに定期接種に移行するため、接種体制の確保や、制度に関する情報提供を行い、区民や医療機関が安心して接種できる体制を整える必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>HPVのキャッチアップ接種は令和6年度末で終了するため、7月に対象者へ接種勧奨のお知らせを送付しました。本人や保護者のほか、医療機関から予診票の発行や接種歴に関する問い合わせが多く寄せられており、接種件数の増加が見込まれます。接種希望の方が滞りなく接種できるように対応します。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、定期接種移行に伴う区民向けの広報等を実施するとともに、医療機関向けに説明動画の配信やマニュアル配布等を行い、接種を希望する区民が安心して接種できる体制を整えます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年4月から5種混合ワクチン、15価の小児用肺炎球菌が定期接種の対象となりました。10月からは20価の小児用肺炎球菌が定期接種となります。また、任意の小児インフルエンザ予防接種の費用助成も開始します。これらについて、区民へ適切な情報提供・周知を行います。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、円滑な定期接種への移行を行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>HPVのキャッチアップ接種と風しん抗体検査・風しん第5期定期接種は今年度で終了しますが、令和7年度から带状疱疹予防接種が定期接種となる予定であるため、令和6年度と同程度の事業コストが見込まれます。</p> <p>新型コロナウイルス予防接種については、定期接種移行初年度の令和6年度の実績をもとに、接種率等を整理し、必要経費の精査を行います。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00344)

事務事業名称	感染症予防・発生時対策				款 04 項 05 目 05 事業 002	整理番号	336	
現担当課名	保健予防課	係名	感染症係		連絡先電話番号	4525	昨年度整理番号	341
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実				予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和50年度	実行計画事業	目標 04	施策 13	計画事業 04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 5年度担当課名	保健予防課				事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、感染症患者及びその接触者等	根拠法令等	(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	感染症発生時に迅速かつ的確に対応し、まん延の防止を図るなど区民の健康を守る。 区民が感染症に関する正しい知識を持ち、自ら感染症の予防ができるようにする。	活動指標	結核患者に対する保健指導件数（訪問、面接、電話等） HIV等性感染症相談件数（電話相談含む）
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	結核患者に対して医療費の公費負担や服薬支援等による療養支援を適切に行う。また、感染者の早期発見のため、感染症法で定められた定期健診の実施・報告の適切な周知、接触者の調査や検査を行う。 HIV等性感染症の早期発見のための検査と予防に関する普及啓発を実施する。 感染症の発生を早期に探知し疫学調査を行うとともに拡大防止のための指導を行う。 区民が感染症やその予防方法についての正しい知識を持てるよう普及啓発を行う。	指標説明	治療成功率 100% - 治療失敗率（治療が失敗中断した患者数 ÷ 結核患者数）【社会】 保健所HIV抗体検査数 即日検査委託分を含む【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1 件	1,634	1,600	1,610	1,600	2,117	1,600	132.3	78.7		
活動指標 (2)	2 件	199	1,986	496	1,986	1,071	1,585	53.9			
成果指標 (1)	3 %	100.0	95	97.0	95	94.0	95	98.9			
成果指標 (2)	4 件	93	660	232	660	527	775	79.8			
事業費	5 千円	1,656,714	2,707,513	2,175,836	479,774	377,430	202,344	特記事項			
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	339,958	260,841	337,488	189,734	179,391	122,417	新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に感染症法上の類型が5類感染症に位置付けられたことに伴い、関連する支援対策等の縮小があったため、執行率及び事業費が減少しました。		
	上記以外の職員	7 千円	32,193	30,356	30,380	18,390	11,726	3,807			
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,028,865	2,998,710	2,543,704	687,898	568,547	328,568				
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0			
	国・都からの補助金	10 千円	1,502,460	1,805,910	1,962,669	189,005	174,419	42,820			
	その他の補助金等	11 千円	0	1,000	3,565	1,000	4,541	0			
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,502,460	1,806,910	1,966,234	190,005	178,960	42,820			
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	526,405	1,191,800	577,470	497,893	389,587	285,748			

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 336

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	結核対策 (診査協議会運営費含む)			103,281
	H I V等性感染症対策			4,048
	新型コロナウイルス感染症対策 (移送費、医療費含む)			178,925
	その他感染症対策			1,489
	その他 (新型コロナウイルス感染症対策 (保健予防課以外))			89,687
取組成果	<p>結核については、患者が最後まで治療できるよう患者支援に取り組んだ結果、高い治療成功率を維持することができました。H I V等性感染症については、令和4年度より検査日数を増やしたため、受検者数の増加につながりました。新型コロナウイルス感染症対策については、杉並区受診・相談センターの運営、入院医療費の公費負担を実施したほか、発熱外来の運営費や休業中の経営継続支援など医療提供体制の確保を実施するなど区民の健康といのちを守る体制を確保しました。</p> <p>また、今後の感染症対策を総合的かつ計画的に推進するため、感染症予防計画を策定しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>杉並区の結核新登録患者数の推移は令和3年：50人、令和4年：38人、令和5年：32人となり、患者は減少傾向にありますが、入国制限等の緩和に伴い、結核まん延国出身者の転入が見込まれ、外国人の患者や接触者への対応が増加する可能性があります。H I V等性感染症については、感染者の早期発見及び早期治療が基本的対策であり、感染拡大を防ぐためには、特に早期発見が重要となるため、検査体制を充実し受検者数を増やす必要があります。新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に感染症法上の位置付けが5類へ移行したことにより、季節性インフルエンザと同様の対応となりましたが、重症化リスクの高い高齢者施設に対する感染予防対策など啓発活動が重要となります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>また、令和5年度末に策定した杉並区感染症予防計画に基づき、平時からの感染症予防及びまん延防止のための施策を推進するとともに、今後起こり得る新興・再興感染症に対応するため、保健所体制の強化や区内医療機関との更なる連携強化を図ることが必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>結核対策は、結核まん延国からの入国者が見込まれる区内日本語学校に対して、検診を実施しています。また、結核の患者が服薬を続けられるよう、阻害要因を評価し、患者の状態に合った服薬支援を行っています。性感染症対策については、検査事業として、HIV・梅毒・クラミジアに淋菌も検査項目に追加し原則月2回の通常検査を実施するとともに、12月の世界エイズデーに合わせHIV・梅毒即日検査を追加実施の見込みです。</p> <p>また、今後起こり得る新興・再興感染症に適切に対処するため、新型コロナウイルス感染症で利用した患者等の管理を一括管理できるシステムを平時から利用できるよう改修し、令和6年度中に運用できる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度に施行した「杉並区感染症予防計画」に基づき、平時からの感染症予防及びまん延防止の施策を推進していきます。</p> <p>結核対策は、長期的な取組が必要なため、現在実施している対策を引き続き行っていきます。</p> <p>HIVなど性感染症検査については、現在月2回の通常検査のほか、東京都HIV検査・相談月間や世界エイズデーなどの取組に合わせて即日検査を実施するなど検査体制の充実を図ります。</p> <p>また、感染症に関する区民への情報提供及び普及啓発に当たっては、正確な情報を収集し、区民等に対しわかりやすく正しい知識を提供するとともに、様々な手法を用いて効果的な普及啓発に積極的に取り組めます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>新型インフルエンザ等感染症を含む新興・再興感染症の対策については、令和6年度より「新型インフルエンザ等対策」で一括で予算計上し、事業実施することとしました。</p> <p>よって、本事業は平時からの感染症予防及びまん延防止の施策が中心となるため、コストは現状維持となりますが、効果的な手段や手法を用いて適切に事業を実施していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00345)

事務事業名称	新型インフルエンザ等対策				款	04	項	05	目	05	事業	003	整理番号	337	
現担当課名	保健予防課		係名	感染症係		連絡先電話番号	4525		昨年度整理番号	342					
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成19年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	04	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 5年度担当課名	保健予防課								事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民、区内在学・在勤者、区内企業、医療機関等	根拠法令等	(1) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 (2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	適切な防疫措置等を実施し、急激な患者の増加を抑えるなど、医療の破綻や社会的混乱を防ぐ。区民等が新型インフルエンザについての正しい知識の下、予防に努めるとともに発生時に冷静な対応ができるようにする。	活動指標	普及啓発活動回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	発生期における危機管理体制及び保健医療体制の整備を行う。発生時に感染拡大防止のための防疫措置等を実施する。区民・関係団体への情報提供・普及啓発を行う。	指標名 (1)	医療関係機関との連絡会の回数
		指標説明	
		成果指標	啓発用物品等の配布枚数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	連絡会への医療機関の参加数
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	0	1	2	1	1	1	100.0	26.2
活動指標 (2)	2 回	0	1	0	1	1	1	100.0	
成果指標 (1)	3 枚	0	3,000	0	3,000	3,736	3,000	124.5	
成果指標 (2)	4 団体	0	6	0	6	10	6	166.7	
事業費	5 千円	1,540	2,402	0	1,057	277	2,374	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,840	5,840	5,823	5,823	5,860	17,579	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴うコロナ対応の事業縮小により、昨年度未実施だった事業が一部実施できたため、事業費の増加となりましたが、令和5年度末に策定した杉並区感染症予防計画において令和6年度以降の防疫備蓄品等の計画を策定したため、訓練用品のみの購入となったこと、及び普及啓発活動については、職員による啓発動画を作成したことにより、執行残となりました。 活動指標 (1) については、研修動画を作成し、区公式ホームページ上で公開したため、動画作成回数とし、成果指標 (1) は動画視聴回数としました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	7,380	8,242	5,823	6,880	6,137	19,953		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	352	0	0	0	638	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	352	0	0	0	638	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	7,028	8,242	5,823	6,880	6,137	19,315		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 337

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	予防対策用研修動画の作成・公開	1	回	84
	備蓄品等の購入 (訓練用ビブスの購入)			193
	新型インフルエンザ対策関係医療機関等連絡会の開催	1	回	0
	その他 ()			
取組成果	<p>普及啓発については、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高い高齢者施設の職員向けの研修動画を区公式ホームページに公開し、施設での集団感染予防活動を行いました。</p> <p>防疫用備蓄品については、令和5年度末に策定した杉並区感染症予防計画に基づき計画的に購入することとしたため、発生時対応訓練等に使用するビブスを購入しました。</p> <p>また、新型インフルエンザ対策関係医療機関等連絡会については、新型コロナウイルス感染症対策連絡会との合同で令和6年3月に開催しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>普及啓発活動は、昨年度に引き続き社会福祉施設職員向けの動画を作成し、区公式ホームページで公開し、視聴回数は3月末時点で3,736回となり一定の効果はあったと認識していますが、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた一般区民向けの啓発活動の内容・手法について検討が必要です。</p> <p>防疫用備蓄品については、令和5年度末に策定した杉並区感染症予防計画に基づき、必要な物品等の選定や確保数など計画的な購入が必要となります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>新型インフルエンザ対策関係医療機関等連絡会は、コロナ禍においては別途「新型コロナウイルス感染症対策連絡会」を立上げたため中止としておりましたが、令和5年度は、令和6年3月に合同で開催しました。今後は、新興・再興感染症対策を強化するため、2つの連絡会を統合し、平時から連絡会を適宜開催するなど医療機関等との更なる連携強化に努めることが重要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>新型インフルエンザ等感染症及び新興・再興感染症の発生時に適切に対処するため、N95マスクや防護服など防疫用備蓄品を選定・購入し適切に備蓄していきます。</p> <p>普及啓発については、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、国・都などと連携し効果的な手法等を用いて実施する予定です。</p> <p>また、保健所職員等の人材育成については、感染症のまん延時に保健所等の業務を支援する人材バンク「I H E A T」に登録した地域の医療従事者等の専門職を含む応援職員に対し、感染症まん延時に迅速に保健所業務の支援ができるよう、感染症対応に係る実践的な訓練等の研修を行います。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型インフルエンザ等感染症を含む新興・再興感染症に適切に対処するため、「杉並区感染症予防計画」に基づき、保健所職員等の人材育成や個人防護具などの防疫用備蓄品を確保し適切に備蓄するなど防疫体制を強化します。</p> <p>また、平時から杉並区医師会等の関係機関と連絡会を適宜開催し連絡調整体制を確保するなど連携強化を図ります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和6年度からは予防対策費に加え、発生時に備えた予算を追加しました。これにより新型インフルエンザ等感染症を含む新興・再興感染症の予防対策及び発生時対策を当事業で実施します。</p> <p>予防対策として、「感染症予防計画」に基づき保健所職員等の人材育成や防疫用備蓄品の確保及び医療機関等との連携など防疫体制の強化について取り組むとともに、区ホームページ等を活用した、迅速な情報発信や啓発活動など、総合的に感染症対策を推進していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00352)

事務事業名称	生活衛生課分室の維持管理			款 04	項 05	目 06	事業 008	整理番号	339
現担当課名	生活衛生課	係名	衛生検査係	連絡先電話番号			4514	昨年度整理番号	344
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実						予算事業区分	既定事業	
事業開始	昭和56年度								
令和 5年度担当課名	生活衛生課			事業評価区分			施設維持管理		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	生活衛生課分室、設備、機器	根拠法令等	(1) 地域保健法 (2) 食品衛生法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○施設、設備、機器を適正に保守管理し、正確な検査を実施することのできる環境を整備する。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○施設、設備、機器を良好な状態に維持するため、保守点検及び修繕を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1								83.8	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	16,195	18,752	16,430	19,806	16,602	19,899	特記事項 ○執行残の理由：料金高騰に対する国の負担軽減策により、電気料金が想定を下回ったことで光熱水費に執行残が生じました。また、新型コロナウイルスPCR検査実施件数減少により、感染性廃棄物処理費に執行残が生じました。		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	9,133	9,133	9,140	9,140	9,309			9,309
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	3,807			3,807
総事業費 (5+6+7)	8 千円	29,003	31,560	29,248	32,624	29,718	33,015			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0			0
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	29,003	31,560	29,248	32,624	29,718			33,015

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 339

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設保守管理委託		1	所
	光熱水費の支出	1	所	2,930
	維持管理	1	所	6,604
	施設修繕	7	件	815
	その他 ()			
取組成果	定期的に施設の保守点検を行うとともに、不具合が発生した際には適宜修理を行い、設備及び機器等を良好な状態に維持しました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	計画的に施設・設備等の保守点検を行い、必要な修理及び劣化抑制対策を実施しています。年度末までの予算執行は90%を超える見込みです。
事業の方向性・改善策	施設全体の経年劣化に伴う修理費用の需用が見込まれます。また、令和6年度に実施した保守点検の結果、局所排気装置に不具合が見つかったため、修理対応の必要があります。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	局所排気装置の修理費等、施設全体の経年劣化に伴う修理費用の需用が見込まれます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00699)

事務事業名称	在宅医療・介護連携推進			款	04	項	02	目	04	事業	001	整理番号	592
現担当課名	在宅医療・生活支援センター		係名	在宅医療・介護連携推進係			連絡先電話番号	4383		昨年度整理番号	595		
上位施策No・施策名	13 地域医療体制の充実							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	04	施策	13	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	在宅医療・生活支援センター							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	在宅療養者及び医療・介護の関係者	根拠法令等	(1) 杉並区在宅医療推進連絡協議会設置要綱 (2) 杉並区在宅医療・介護連携推進事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を推進する。	活動指標	在宅医療地域ケア会議の開催回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区及び関係機関による在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会のほか、医療・介護の関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修や在宅医療推進フォーラムを開催し、在宅医療と介護の連携を推進する。 在宅医療相談調整窓口を設置し、区民及び医療・介護の関係者から在宅医療に関する相談を受け付ける。	指標名 (1)	全体会を含む
		指標名 (2)	在宅医療相談調整窓口の開設日数
		成果指標	在宅医療地域ケア会議の参加者数
		指標名 (1)	全体会を含む【行政】
		指標名 (2)	在宅医療相談調整窓口の相談件数
		指標説明	【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	8	21	12	21	15	15	71.4	75.5
活動指標 (2)	2 日	242	243	243	243	243	243	100.0	
成果指標 (1)	3 人	417	743	752	743	959	970	129.1	
成果指標 (2)	4 件	389	500	344	500	282	400	56.4	
事業費	5 千円	5,439	12,042	8,905	9,183	6,932	9,712	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	16,269	16,686	18,300	16,636	17,579	16,742	○令和5年度は、令和4年度と異なり、在宅療養ブックの作成に関して区内の全医療機関等に調査を行う年度 (3年に1回) ではなかったことから、事業費が減少しました。 ○在宅医療地域ケア会議の開催回数が計画よりも少なかったことから、執行率が90%未満となりました。
	上記以外の職員	7 千円	4,043	1,838	1,839	1,839	2,665	2,665	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	25,751	30,566	29,044	27,658	27,176	29,119		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	4,267	7,505	5,694	5,700	4,401	5,609	
	その他の補助金等	11 千円	1,171	2,625	1,993	2,069	1,610	2,153	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,438	10,130	7,687	7,769	6,011	7,762	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	20,313	20,436	21,357	19,889	21,165	21,357	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 592

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	在宅医療地域ケア会議の開催 (全体会1回を含む。)	15	回	1,705
	在宅医療推進連絡協議会の開催 (普及啓発・研修部会1回等を含む。)	3	回	233
	在宅医療推進多職種研修の実施 (難病研修2回を含む。)	4	回	179
	在宅医療推進フォーラムの開催	1	回	147
	その他 (在宅医療相談調整窓口のリーフレット作成等)			4,668
取組成果	<p>医療・介護の関係者による在宅医療地域ケア会議を15回開催し、多職種連携ICTシステムの活用方法等について意見交換を行いました。また、「認知症の理解と地域支援」等をテーマとした在宅医療推進多職種研修を4回実施し、看護師やケアマネジャー等が計132名参加しました。さらに、在宅医療推進フォーラムには194名の参加があり、アンケートでは在宅医療への理解が深まったとの回答が9割以上を占めるなど、区民等へ普及啓発を図ることができました。そのほか、在宅医療相談調整窓口では282件 (前年度比62件減) の相談を受け付け、医療機関との調整を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>高齢者人口の増加に伴い、在宅医療のニーズが高まっており、在宅療養者が安心して医療を受けられるように、在宅医療と介護の連携を強化していく必要があります。</p> <p>令和6年度は、在宅医療相談調整窓口の相談件数を増やしていくため、ケア24等の関係機関に同窓口を紹介するリーフレットを改めて配布し、更なる周知を図ります。</p> <p>なお、第8期介護保険事業計画を策定した令和3年当時は、在宅医療地域ケア会議を年21回 (1圏域3回×7圏域) 開催することを目標としていましたが、参加者アンケート等によると、1圏域当たり年2回程度の開催が負担感等から適当であるとの声が多かったため、5年度は1圏域当たり年2回の計15回 (1圏域2回×7圏域+全体会1回) 開催し、6年度も同回数を開催を予定しています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>在宅医療地域ケア会議の全体会を4月に開催し、令和6年度の活動方針等を検討しました。区内7圏域毎の在宅医療地域ケア会議については、9月から10月と12月から2月頃に各1回ずつ開催し、圏域毎の課題等について多職種の関係者間で議論する予定です。</p> <p>また、在宅医療推進連絡協議会を6月から7月にかけて計3回 (普及啓発・研修部会1回及び認知症施策推進部会1回を含む。) 開催し、医療と介護の関係者間の連携強化を図りました。</p> <p>なお、8月末時点での在宅医療相談調整窓口の相談件数は、137件となっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>在宅医療地域ケア会議や在宅医療推進連絡協議会に加え、今年度は10月から1月にかけて医療・介護関係者を対象とした在宅医療推進多職種研修を計4回実施するほか、2月には在宅医療の普及啓発を図るための在宅医療推進フォーラムを勤労福祉会館ホールで開催するなどにより、在宅医療と介護の連携をさらに強化していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度は、在宅医療地域ケア会議の企画運営を担当する区内全7圏域の医師が2年毎に交替する年度に当たるため、在宅医療地域ケア会議に係る委託料が増加します。また、在宅医療を提供する医療機関等の情報をまとめた「在宅療養ブック」について、3年毎に行う全面改訂の年度に当たるため、経費の増加を見込んでいます。</p>	